

若年無業者(ニート等)への 対応方策について

労働政策研究・研修機構
小杉礼子

「ニート」の数と定義について

64万人 「通学も家事もしていない非労働力人口」(「**労働力調査**」(2004年)・・・公表統計の範囲での定義

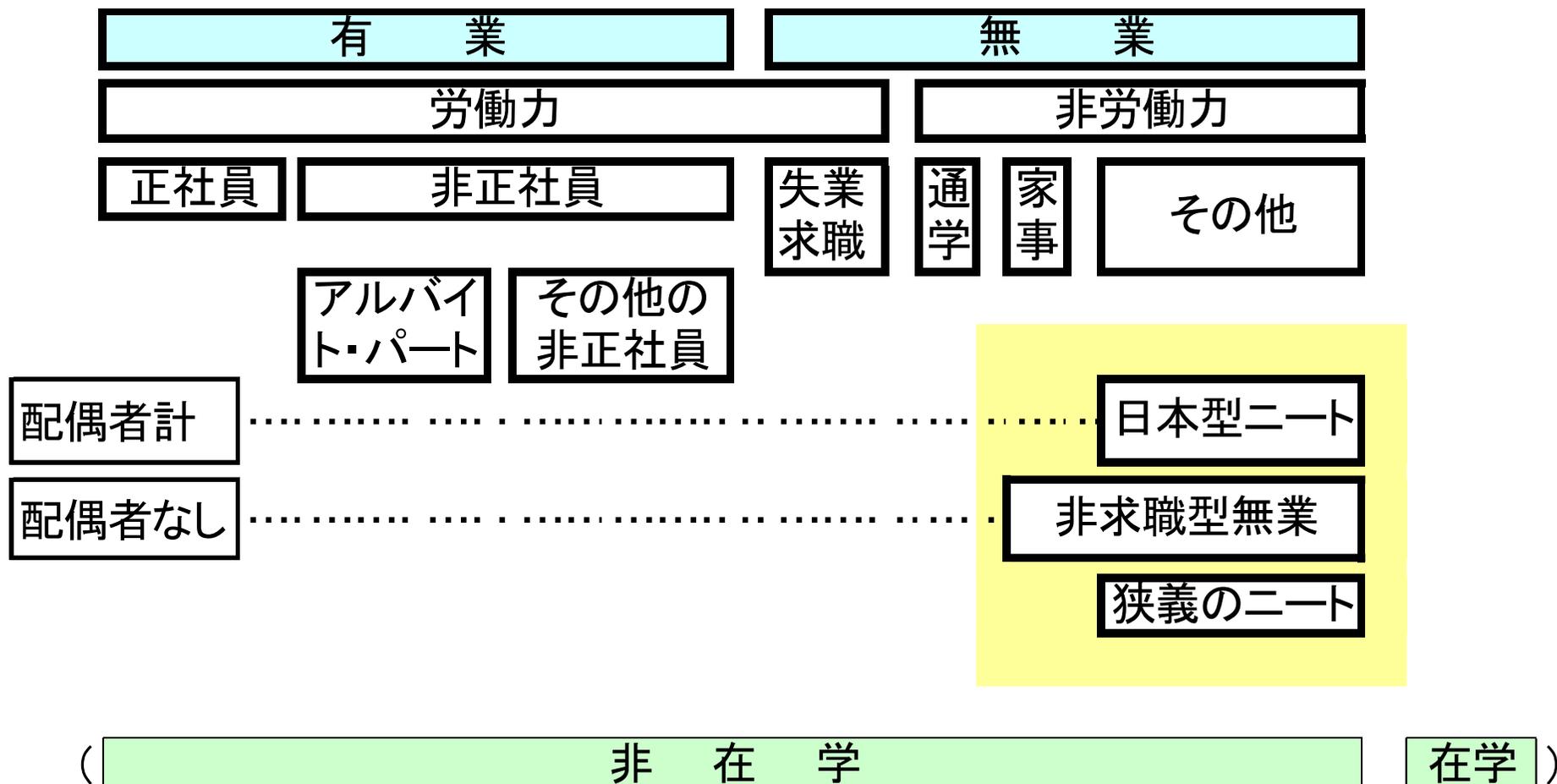
(以下、日本型ニート)

52万人 厚生労働省『労働経済白書』(2004)

「在学も通学もしていない、かつ、結婚しておらず家事もしていない非労働力人口」(「**労働力調査**」(2003年)の**特別集計**)

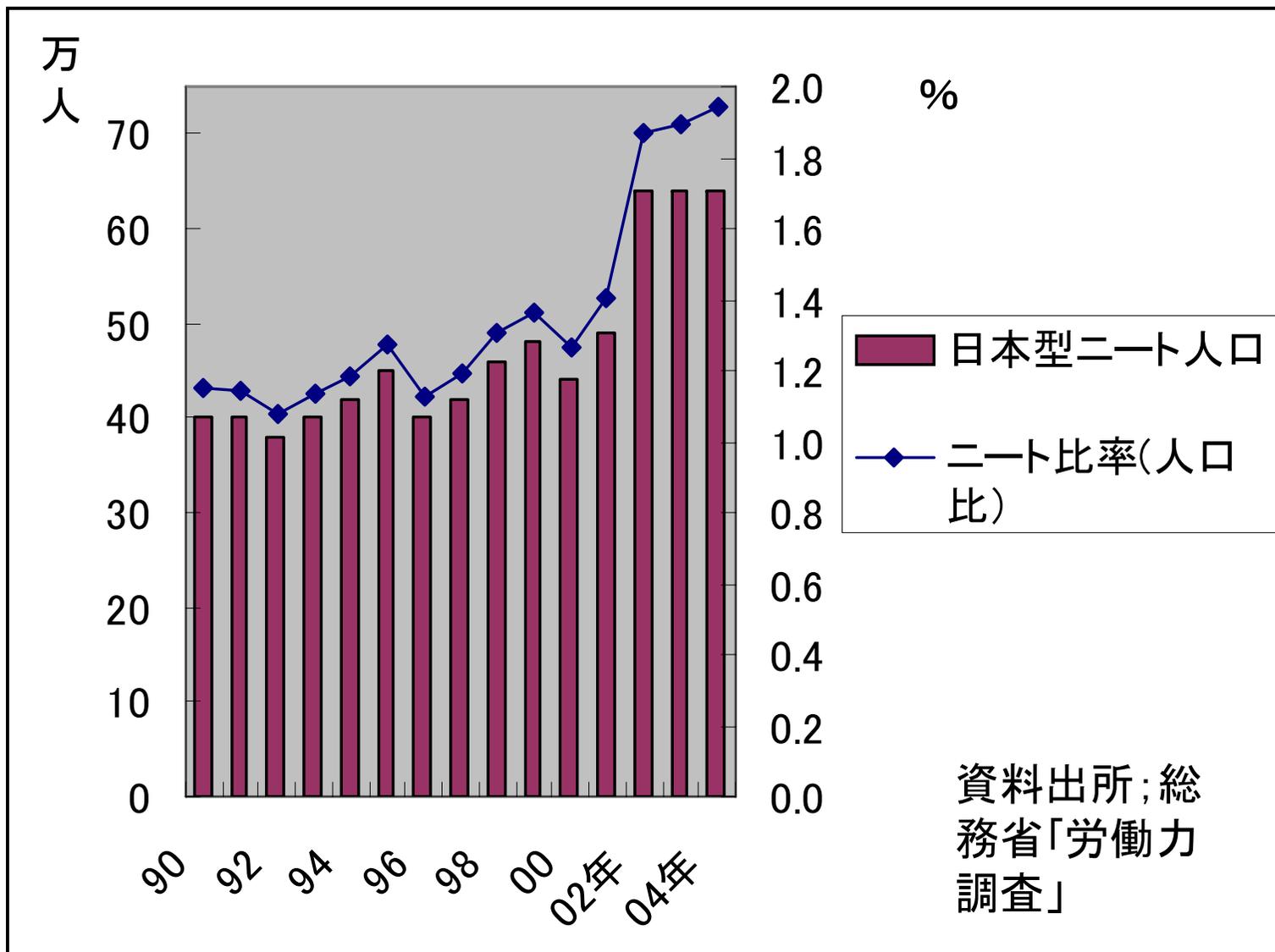
85万人 内閣府「青少年の就労に関する研究会(中間報告)」(2005) 「ふだん仕事をしていない無業者で、在学も通学しておらず、かつ配偶者のいない者のうち、求職活動をしていないもの」(「**就業構造基本調査**」(2002年)の**特別集計**)

統計上での無業とニート



* 日本型ニートでは、在学条件なし)

図1 15～34歳の非通学・非家事 の非労働力人口(=日本型ニート)



イギリスのNEET

- Not in Education, Employment or Training
- 学校にも、雇用にも、職業訓練にも参加していない若者 = 16～18歳人口の9% (161,000人) を占める。その後も訓練に参加せず、失業や社会福祉給付受給者、薬物乱用者や刑法犯、ホームレスになる可能性が低くない。社会的コストとなる可能性大。

The Social Exclusion Unit 1999

“Bridging the Gap—New Opportunities for 16-18year olds not in education, employment or training”

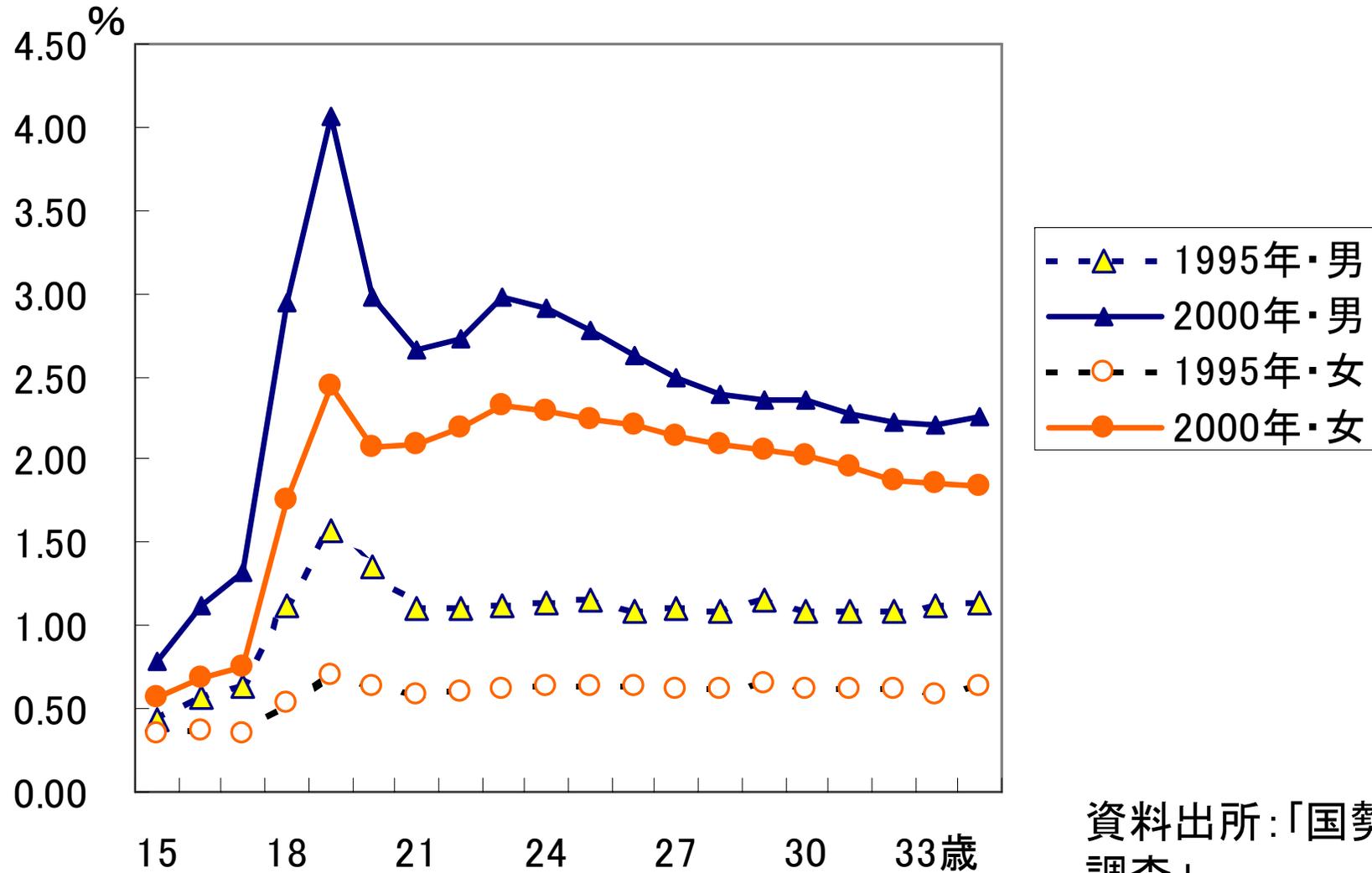
訓練重視政策→訓練のスティグマ化：
若者目線を欠くと就業支援政策は有効に働かない

日本型ニート

社会活動に参加していないため、将来の社会的なコストになる可能性があり、これまでの就業支援策では十分活性化できていない存在

→ 日本型ニートの定義 「通学していない、就業していない、求職活動していない、家事をしていない15-34歳の者」(労働力調査・国勢調査)

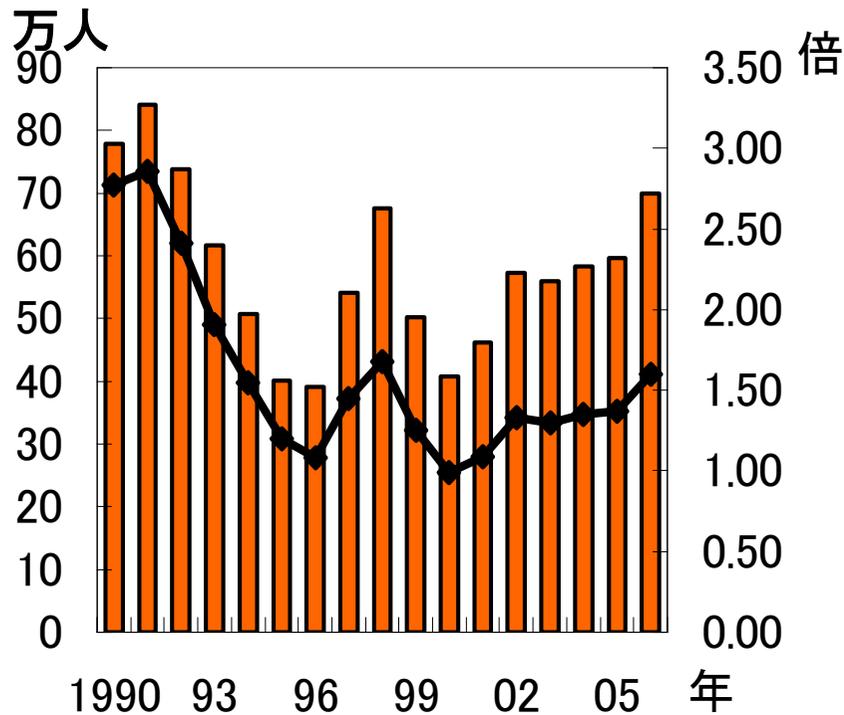
図2 日本型ニートの年齢別人口比



資料出所:「国勢調査」

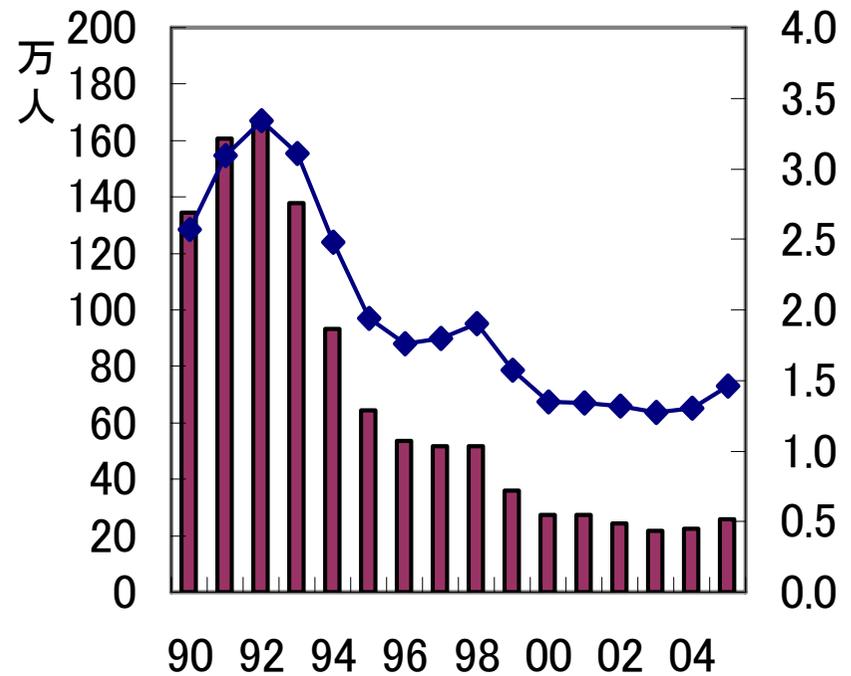
図3 新規学卒者の労働市場

新規大卒者への求人



大卒求人数 ◆ 大卒求人倍率

新規高卒者への求人

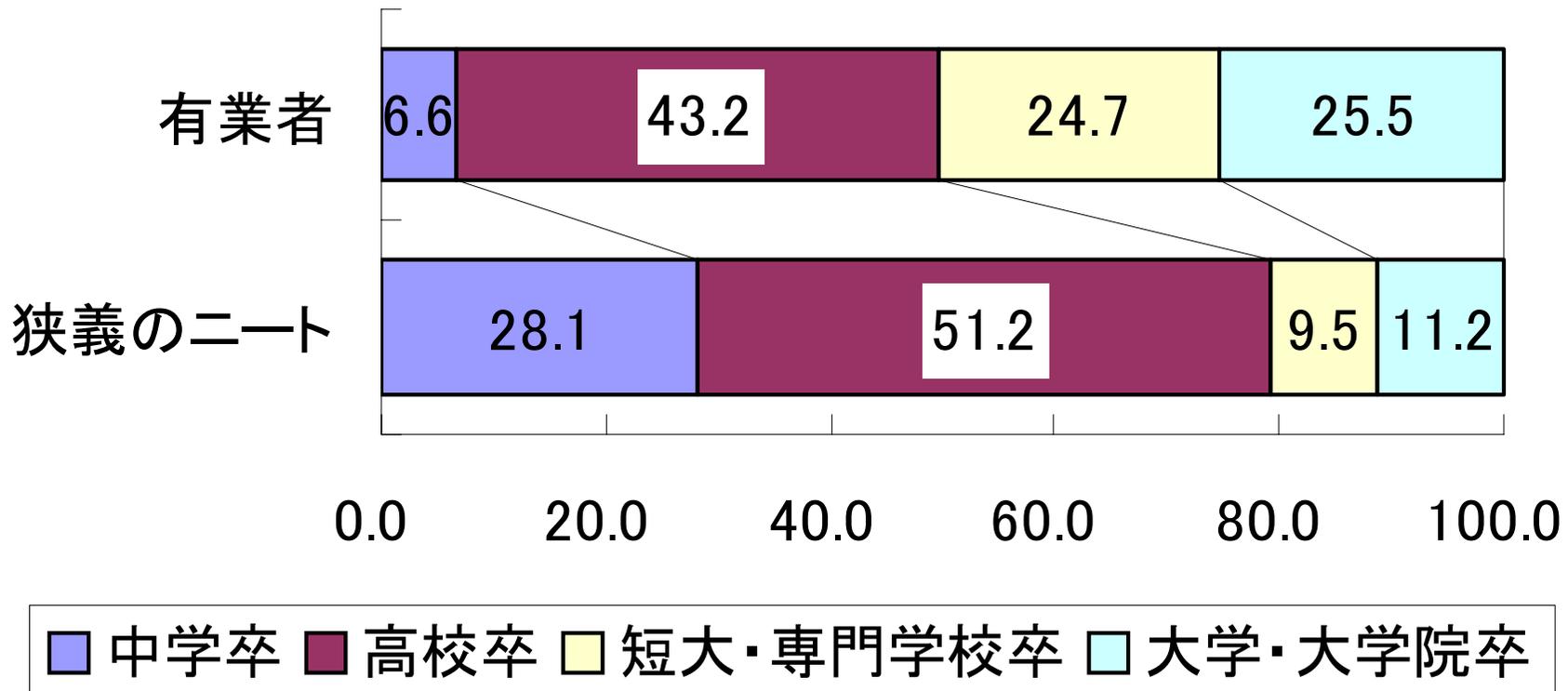


高卒求人数 ◆ 高卒求人倍率

資料出所:リクルートワークス研究所「大卒求人倍率調査」

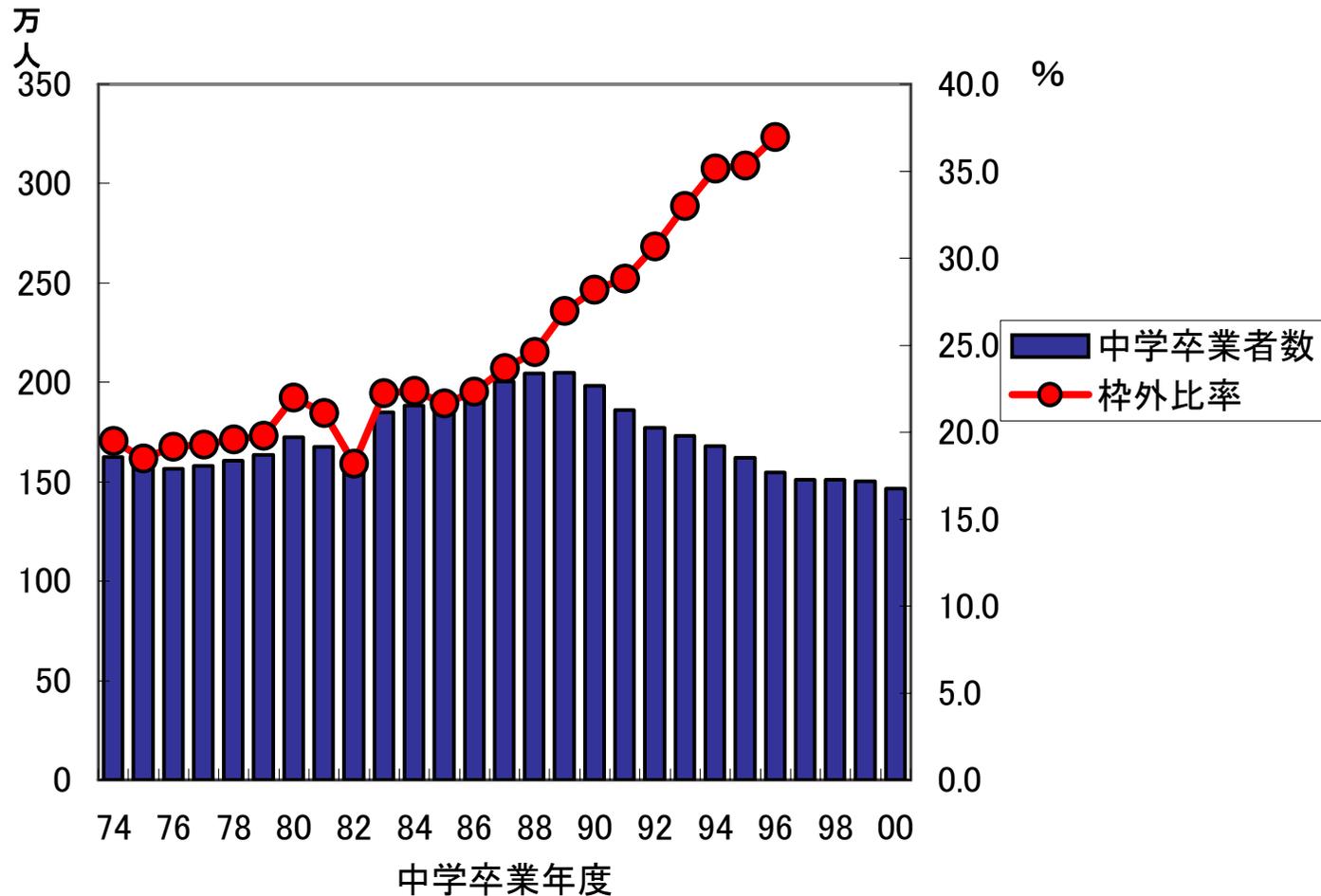
厚生労働省「新規学卒者の労働市場」

図4 「狭義のニート」の学歴構成



資料出所：労働政策研究研修機構(2005)「若者修業支援の現状と課題-イギリスにおける支援の展開と日本の若者の実態分析から(総務省「就業構造基本調査」(2002)の特別集計)」

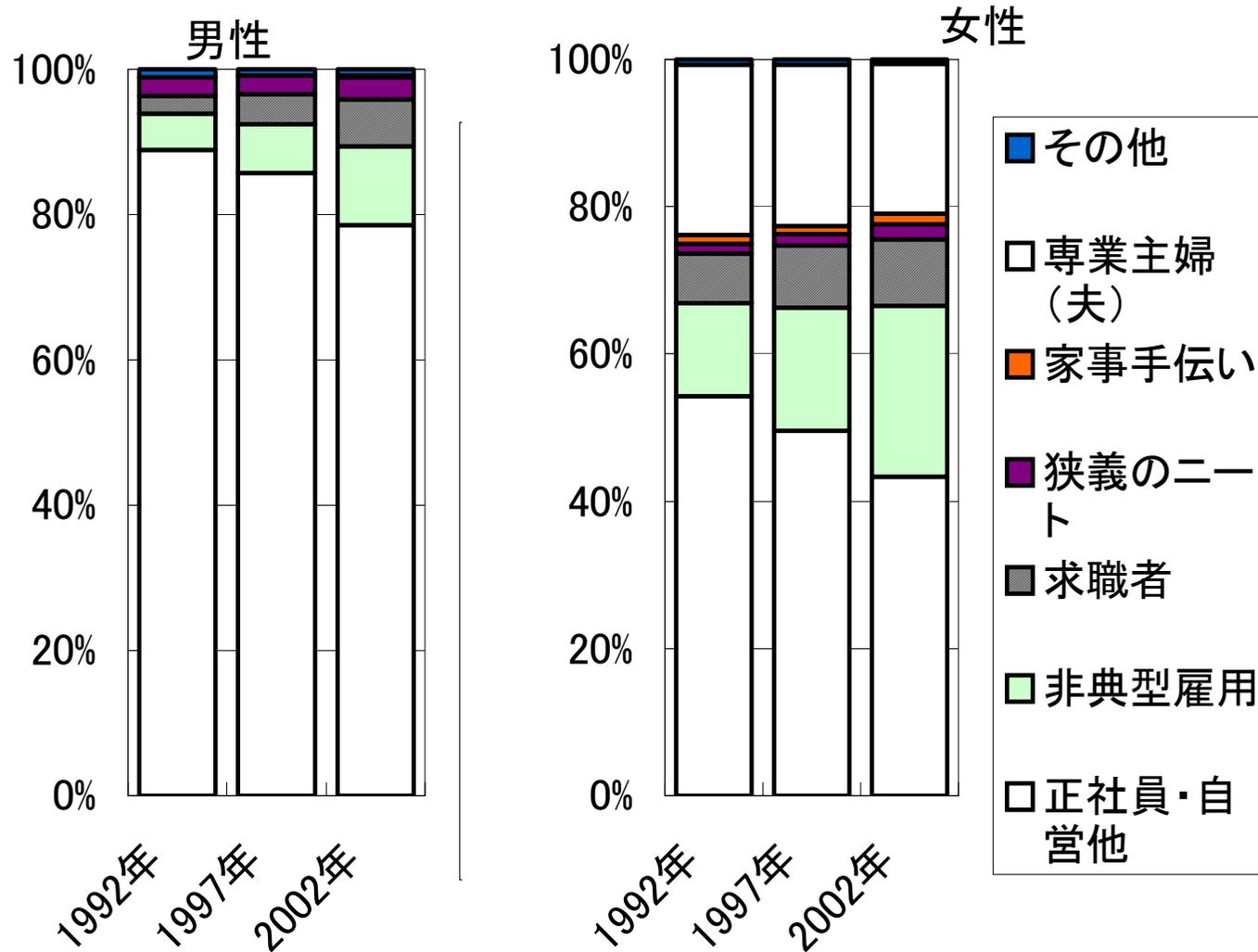
図5 学卒就職の枠外での離学



注) 枠外者比率 = { 中学卒業者数 - (同年中卒就職者数 + 3年後高卒就職者数 + 5年後短大・高専・専門学校卒就職者数 + 7年後大卒就職者数 + 7年後大卒進学者数 + 2年後各種学校準看護・看護卒業生数) } / 中学卒業者数 × 100

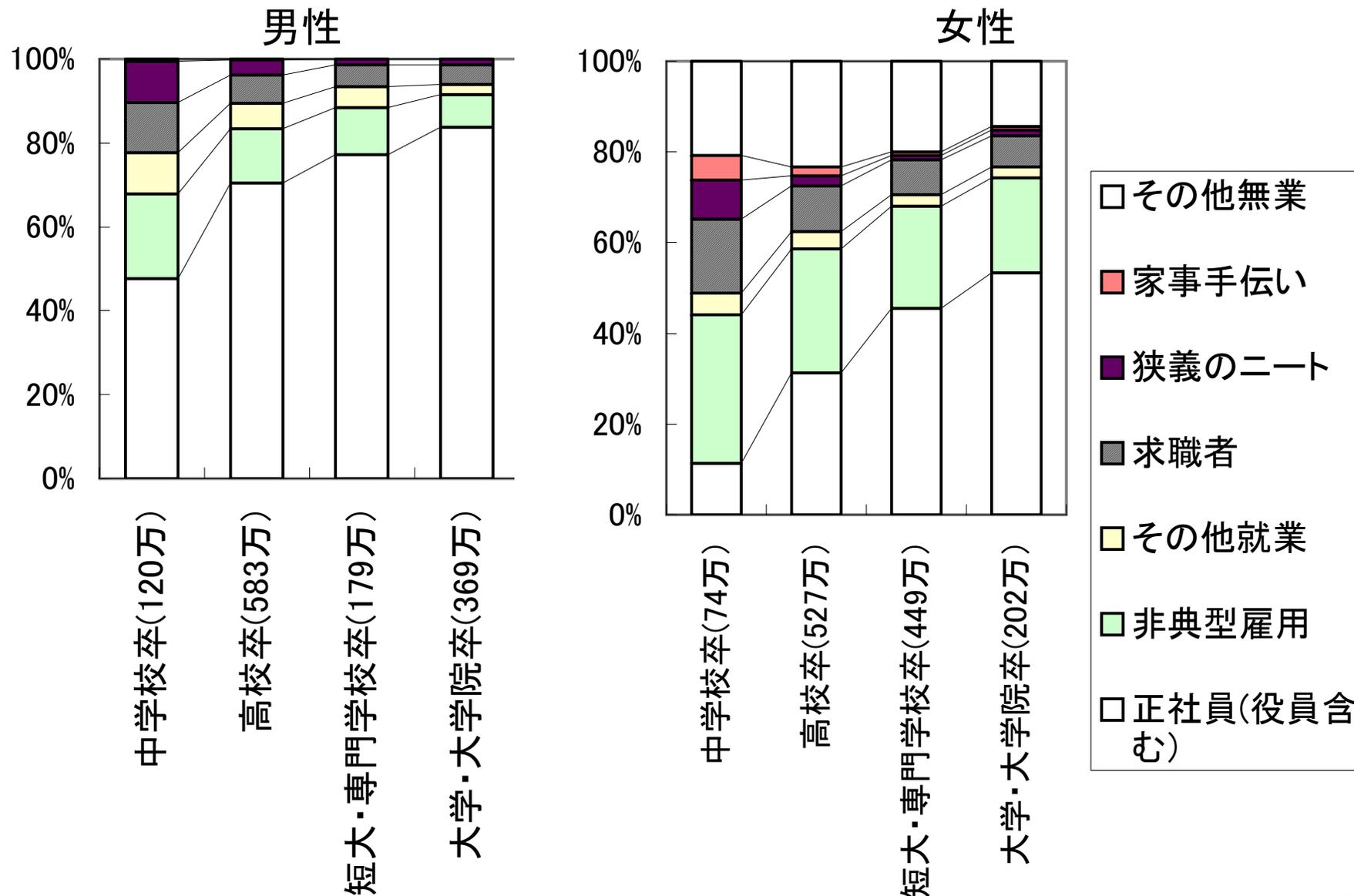
資料出所: 文部省「学校基本調査」

若年者(15-34歳)の就業・不就業状況 (在学者を除く)

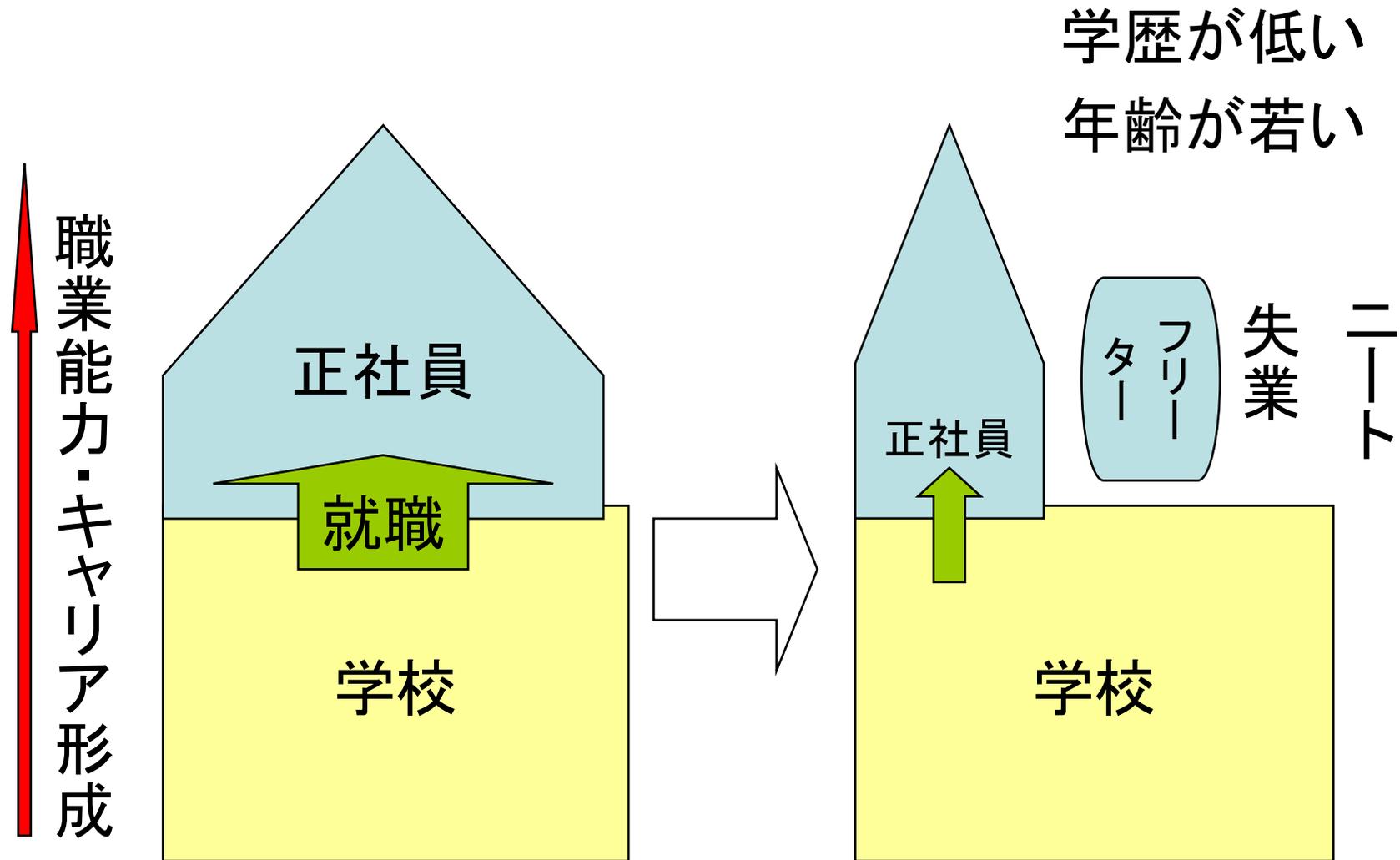


出所: 総務省「就業構造基本調査」(JILPT(2005))「若者就業支援の現状と課題」報告書より)

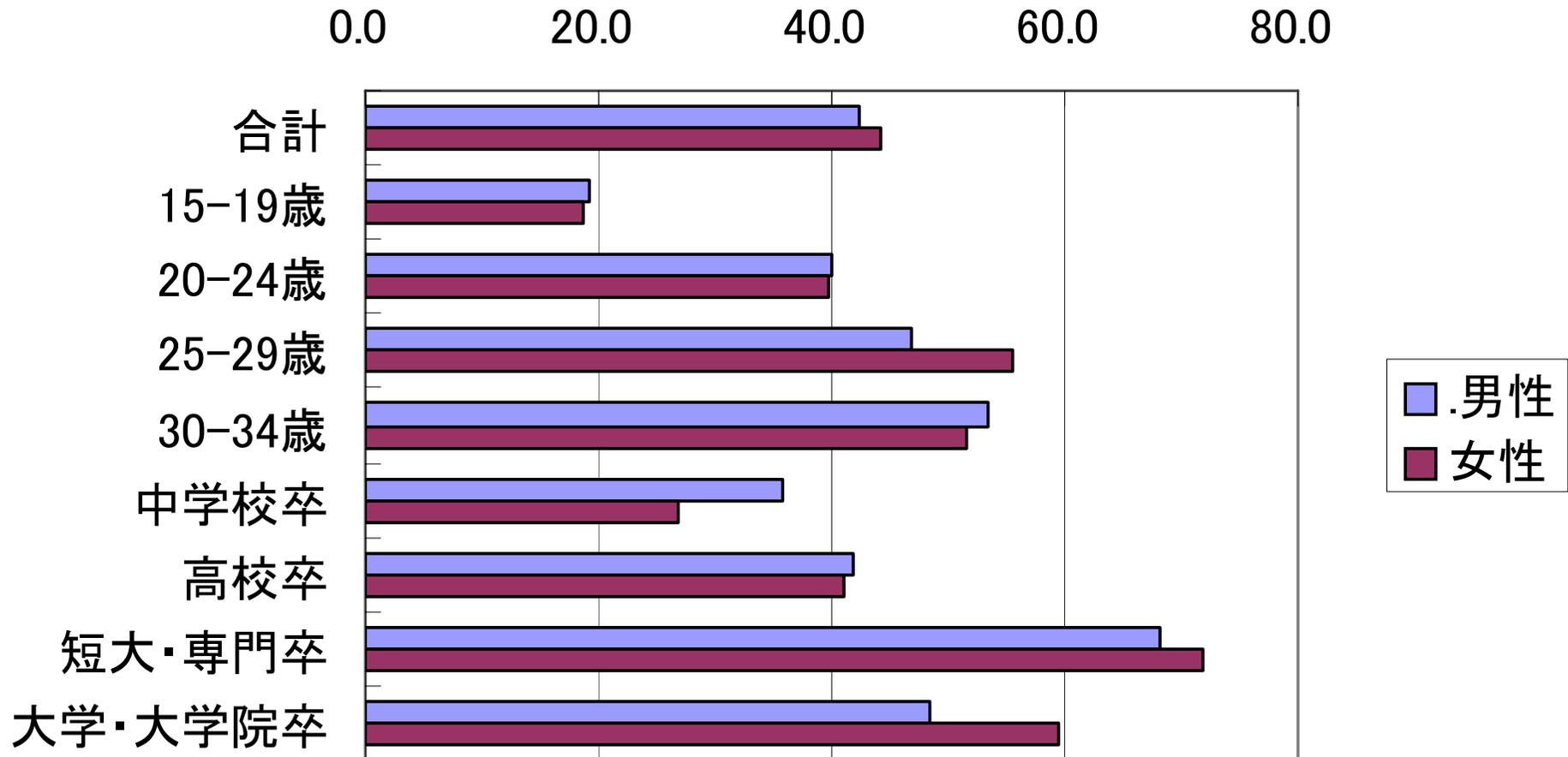
図3 15-34歳(非在学)層の就業・無業状況



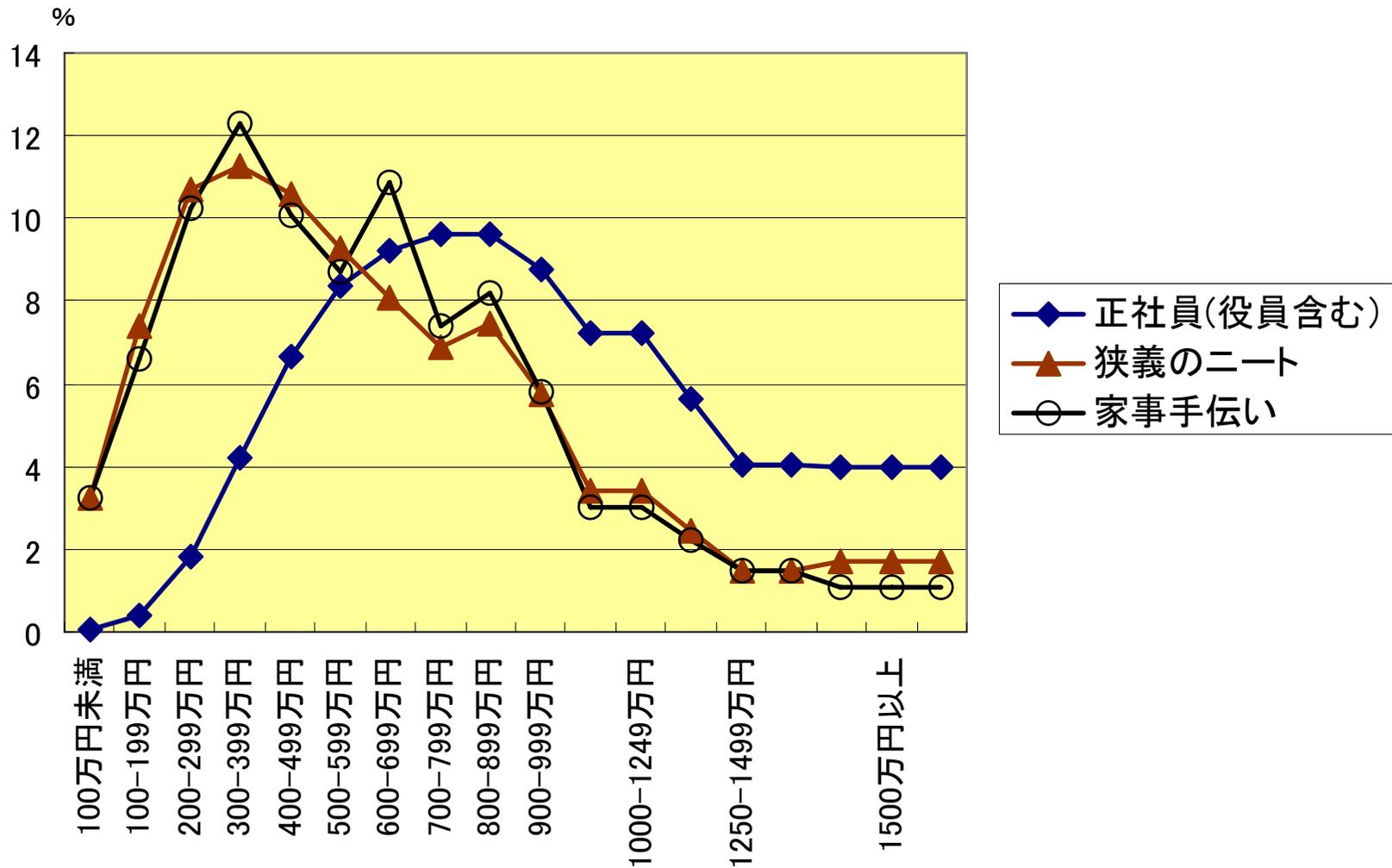
学校から職業への移行の変化



就業経験のある「狭義のニート」比率

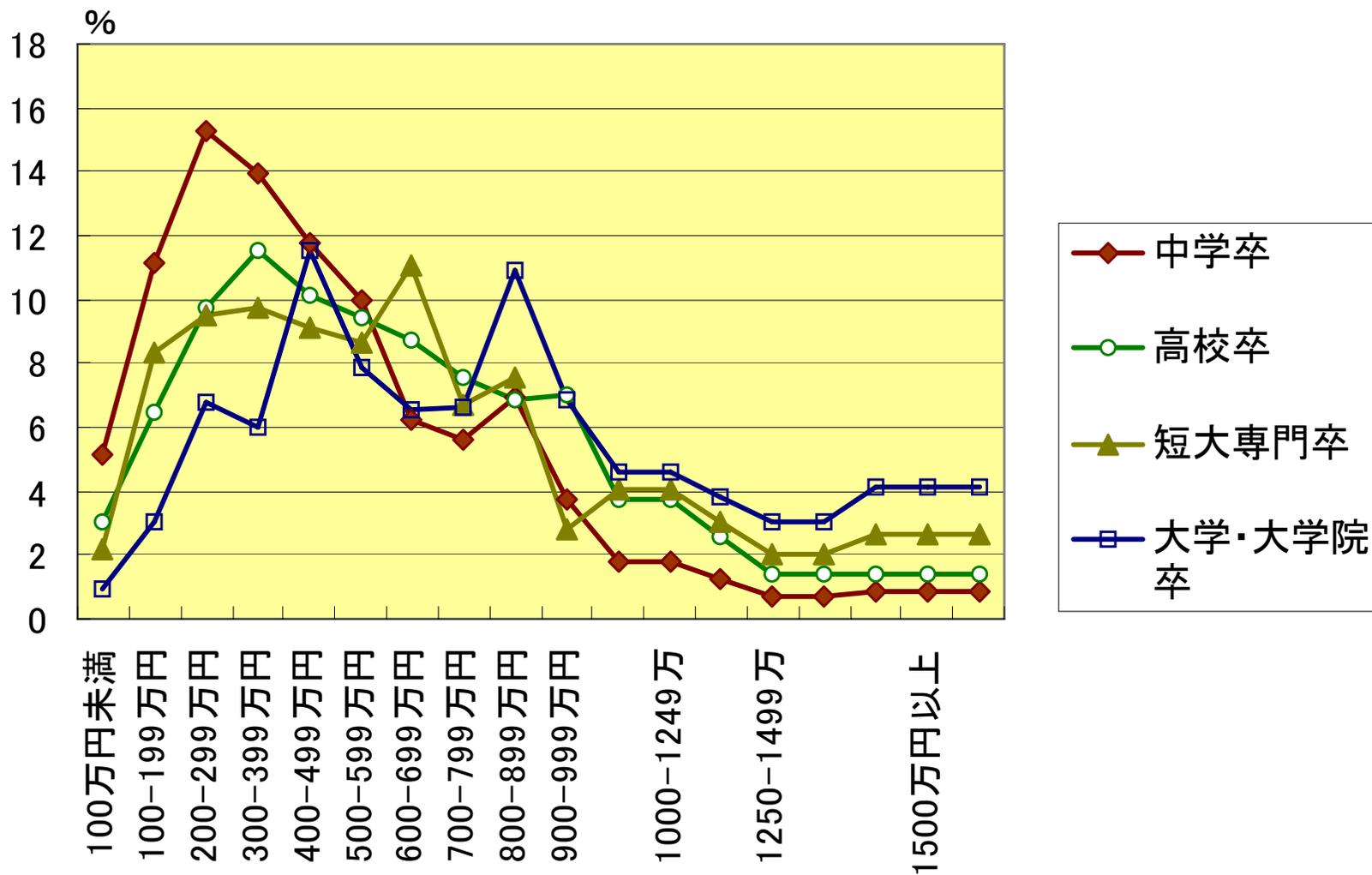


同居の子ども就業状態別世帯年収の分布



注)1000円以上は区分が異なったので100万円単位に配分した。

ニート状態の子がいる世帯年収分布(子の学歴別)



注) 1000万円以上は区分が異なったので、100万単位に配分した。

- 刹那を生きる

高卒や高校中退、学業不振・遅刻が多い。親も非典型雇用が多く家計は豊かでない。生活習慣レベルに課題。

- つながりを失う

友人関係のつまづきなどの理由から離学する。孤立化していくことが多く、社会的関係の構築が課題。

- 立ちすくむ

大卒段階で、就職活動はするが途中でやめる。暮らし向きは普通。親は自己実現志向にも理解があることが多い。

- 自信を失う

就職するが、早期に離職。負荷や責任の大きい仕事を十分こなせず、「迷惑をかける」と離職。クビに近い形も。

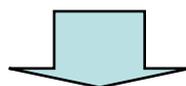
- 機会を待つ

地方の高校卒。求人がなく就職できない。地域移動はしない。

多様なニート像の背景に移行経路の変化

＜新卒就職→企業内能力開発→内部労働市場＞ の
日本型モデルの後退

- …＜ふつう＞の移行経路が見えなくなる（高卒）
- …もともと移行経路から排除され個人の努力（中退）
- …供給過剰とネットの普及が絡んで競争激化（大卒）
- …拡大する地域間の労働力需要格差



①新卒就職以外の経路の設計

フレキシブルな就業への入り口

企業外での能力形成機会の充実＝生涯学習社会へ

企業外での能力形成の質の保障＝企業との連携

②学校でのキャリア教育と学校外での支援の接続

個人のエンパワーメント：相談機能・参画促進

移行経路の変化と生涯学習

